

第2回 公益目的支援事業活動交流発表会を開催！

(一社)九州地域づくり協会では、令和4年度の公益目的支援事業の支援団体やその他の地域づくり団体を対象に、協会主催、九州地方整備局後援の「公益目的支援事業活動交流発表会」を令和5年9月13日(水)に開催しました。

本交流発表会は、九州7県の河川・道路等の社会資本整備に関する交流活動、地域活性化・環境保全に配慮した地域づくりに勤しむ活動団体の活動の励みやモチベーションの向上に役立つことを目的としています。

活動団体6団体による活動成果や今後の展望の紹介を踏まえ、『継続ある活動』をテーマとした意見交換を行いました。会場とZoomウェビナー配信を併用し、88名の方々(会場46名、Web42名)にご参加いただきました。

多様な場面で活動される参加者の皆さまからは、「世代継承の考え方が見えた」「広報の仕方、仲間づくりが参考となった」「九州の仲間が増えて活動の輪が広がり大変良かった」との感想や、今後議論したいテーマ等様々なご意見をいただきました。

主催者挨拶

来賓挨拶



九州地域づくり協会
理事長 田中 慎一郎



九州地方整備局
企画調整官 樋口 尚弘 様



会場の様子

事例発表 (6団体)



噂の土木応援チーム
デミーとマツ
デミー博士 様



特定非営利活動法人
天明水の会
西村 様



「中九州横断道路」の
早期完成を願う女性の会
堀 様



江北町女性ネットワークの会
岸川 様



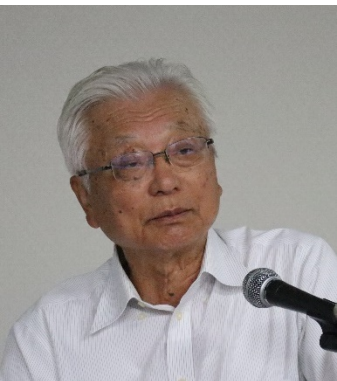
唐津街道むなかた推進協議会
梅田 様



薩摩よりみち風景街道協議会
田島 様

意見交換

公益目的支援事業審議委員会の玉川委員長コーディネートのもと、会場やオンライン参加者を交えて『継続ある活動』をテーマに活発な意見交換を行いました。



(意見交換会)コーディネーター
公益目的支援事業審議委員会
玉川 孝道 委員長



「中九州横断道路」の早期完成を願う女性の会 堀 様

子どもは大人の後姿を見て育つ。
親が活動する姿を見せれば自然とつながっていく。



ながさきサンセットロード振興会 村里 様

未知の世界(土木の現場)で体験した時の目の輝きは見てみないとわからない。

土木の知識がなかった女性作業員が工事現場でIT操作をして活躍している。

「つながる・ひろがる」やまなみハイウェイ実行委員会 阿南 様

世代交代をしないと後がついてこない。44年活動を継続した中で、1期生が現在の団長を務めている。



過去の参加者の子どもが3分の1。
体験したことを2世代で話せることが素晴らしい体験学習になる。

江北町女性ネットワークの会 岸川 様

得意分野を活かせる活動を行っている。
出来る人が出来るときに地域貢献に参加する雰囲気づくりが大事。



各団体の代表とLINEを使って連携をとっている。

縦と横のつながりを大切に!!

【活動を継続するためのポイント】

- ①後継者の育成
- ②横の連帯
- ③魅力ある活動

演出が大事!!

噂の土木応援チームデミーとマツ デミー博士 様



土木に関わる人たちが土木の価値ある魅力~~を~~忘れていることが問題だと感じている。

初めて体験する人たちの気持ちになってうまく演出すると広報がグッとよくなる。

九州地方整備局道路計画第二課長 井本 様



皆さんの活動に寄り添っていくことが大切。
風景街道ではパートナーシップの自治体と一緒に歩んでいきたい。

玄界灘風景街道 歩く唐津街道の旅 樹谷 様

活動に関係する行政機関とのつながりがうまく出来ていない。
日常に近いような会議の場が必要。



別府湾岸・国東半島海への道 加藤 様



「共同作業の愉快さ」を伝えることを目指している。地元の人たち(当事者)がやるのが大事。住民の理解が得られれば、後継者もできるし連携もできる。

総括

持続する志が強く伝わってきた!!
地道な活動を積み重ねて地域や若者が魅力を感じる活動にしていきたい。



会場参加者の皆さんで記念撮影📷